

第1回検討委員会資料からの主な変更点

「(1) エコロジカル・ネットワークの基本的考え方について」関係

1. 「資料 1-1 エコロジカル・ネットワークの基本的考え方 (案)」について、「4. エコロジカル・ネットワークの階層性」を追加。本検討会は全国レベルのエコ・ネット構想の策定を目的としており、広域圏・都道府県・市町村等のスケールにおける検討を促すためのものである旨を明記。

「(2) 全国エコロジカル・ネットワークの現況及び将来について」関係

2. 「資料 2-1 生物多様性から見た国土のとらえ方 (案)」を追加。海底地形を含めた日本の地形図、生物多様性の観点からの5地域の説明を追加。

3. 「資料 2-3 指標種の観点からの重要地域等 (案)」について、各指標種の生態的特性の説明、指標種の観点からの重要地域等のみの重ね合わせ図を追加。広域圏、都道府県、市町村等のレベルでエコ・ネットを検討する場合の留意点を注で追記(資料 2-4、2-5 にも追記)。指標種ごとの検討経緯は参考資料へ移動。

4. 「資料 2-4 希少な種(絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類の種)の観点からの重要地域(案)」について、希少な種が確認されている2次メッシュ(約10km²)を35種以上から10種以上に変更。

5. 「資料 2-5 生態系の多様性の観点からの重要地域(案)」について自然海岸、オオタカやサシバの生息情報のある里地里山を追加表示。拡大図を追加。

6. 「資料 2-6 生きものの視点からの全国エコロジカル・ネットワークの現況図(案)」について、シギ・チドリ類のフライウェイ、ウミガメ類(アカウミガメ)の回遊ルートを表示。海流図を詳細な海流図に差し替え。現況図(案)の拡大図を追加。

7. 「資料 2-7 生きものの視点からの全国エコロジカル・ネットワークの将来図(案)」について、望ましい地域のイメージを追加。生物多様性の観点からの5地域に基づき記述を整理。

「(3) 全国レベルのエコロジカル・ネットワークの実現に資すると考えられる主な施策」

関係

8. 「資料 3-1 全国レベルのエコロジカル・ネットワークの実現に資すると考えられる主な施策」を第3次生物多様性国家戦略より提示。

参考資料 1 指標種の観点からの重要地域等の抽出の詳細(案)

9. シギ・チドリ類、ウミガメ類の重要地域抽出の過程を敷衍。海鳥の重要地域を追加。

10. 「⑥ 海棲哺乳類を指標種とした重要地域(沿岸・海洋・島嶼地域) (案)」について太平洋側の回遊経路(回復)を削除。

11. 「⑧ アユ、サケ等の魚類の遡上可能性(河川・湿原地域) (案)」について、魚がのぼりやすい川づくりモデル 19 河川から平成 14 年調査の 1 級水系 109 河川に差し替え。